登録コード	A3595491	開講年度	2026

授業科目	専攻研究Ⅱ					担当教員	守口　海
英文授業名	Thesis ResearchⅡ						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中･不定期	対象学生	4年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当						

(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	【授業の達成目標】
	２０２２Aカリ，２０２１Aカリ，２０２０Aカリ，２０１９Aカリ		
	【2022年度以前ｶﾘｷｭﾗﾑ対象】専門的な知識や研究能力を修得している	⇔	自らの立案した調査計画を実行する能力を修得する。
	【2022年度以前ｶﾘｷｭﾗﾑ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している	⇔	自らの立案した調査計画を実行する能力を修得する。
	２０２６A３編（24A），２０２５A３編（23A），２０２４Aカリ，２０２３Aカリ		
	【2024年度以前ｶﾘｷｭﾗﾑ対象】専門的知識や研究能力を基礎として的確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	⇔	自らの立案した調査計画を実行する能力を修得する。
	【2024年度以前ｶﾘｷｭﾗﾑ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	⇔	自らの立案した調査計画を実行する能力を修得する。

(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生
(3)全学横断特別教育プログラム	
(4)授業の概要	自らの計画した調査を実行する。
(5)授業計画	1．予備調査の吟味 2．当初研究計画の方針修正 1 (調査項目の調整) 3．当初研究計画の方針修正 2 (分析方法の調整) 4．調査実行のための法的手続き 5．使用機器等の準備 6．スケジュールの調整 7-15．調査の実行 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施します。
(6)自主学習の指針	調査結果は随時速やかにデータ入力を行い精査して、疑いのあるデータは再測を行い正確なデータの収集に努める。
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある。（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない。（59点以下）
(8)事前事後学習の内容	事前学習: 遅延なく研究計画が実行できるよう、スケジュール等を調整しておくこと。 事後学習: 予備分析を並行して進め、分析のイメージを養うこと。
(9)テストやレポートの予定	調査計画の実行状況についてプレゼンし、これを以てレポートとする。
(10)成績評価の方法	調査計画の実行状況を説明するプレゼン、他の研究室メンバーの調査への参加状況等を考慮し、総合的に評価する。
(11)質問、相談への対応および連絡先	ゼミ室またはB棟203号室にて受け付ける。
(12)履修上の注意	同じ研究室の他のメンバーや、他の研究室の調査へも積極的に参加すること。
【教科書】	指定しない。
【参考書】	随時紹介する。